

社会を明るくする運動 推進大会を開催しました

犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な活動「社会を明るくする運動」は、昭和26年の開始から今年で76回目を迎えました。7月の全国強調月間に合わせ、山都町保護司会が中心となり、7月2日に矢部中学校体育館にて推進大会を開催しました。昨年に引き続きシンガーソングライターのむたゆうじさんをお迎えしてのコンサートを行い、むたさんの素敵な歌声と軽快なトークに、会場全体が大いに盛り上がり、更生保護への理解を深める貴重な機会となりました。

問合せ 総務課 ☎ 72 - 1111



花を植えて笑顔咲く ～「やさしさの花プロジェクト」を実施～



7月13日、明星学園の利用者と矢部高食農科学科の2年生が清和小学校を訪れ、6年生とともに花苗の植え付けを通じた交流活動を行いました。この取り組みは、熊本銀行浜町支店（特別協賛）と社会福祉協議会が連携し実施している「みんなで植えよう！やさしさの花プロジェクト」の一環です。活動には矢部高生が育てたマリーゴールドの花などの花苗が提供されました。

当日は、レクリエーションでボッチャを行った後、参加者全員が協力しながらプランターへ花苗を丁寧に植え付けました。



矢部高校生手作りの「好きっ通潤パズル」で世代を超えた交流

7月21日、上司尾通いの場（ふれあい会）で、矢部高校生と地域住民が交流するイベントが開催されました。

上司尾通いの場は、毎月20日に開催され、認知症予防を目的に体操やレクリエーションなどを行っています。今回は、山都町社会福祉協議会の協力により、矢部高校生が参加し、高校生が製作した通潤橋をモチーフにした木製パズルを使ったレクリエーションが行われました。

参加者はチームに分かれ、パズルの完成までの速さを競いました。高校生がお年寄りに優しく声を掛けながら一緒に考え、協力してパズルを完成させる姿が見られ、会場には笑顔と歓声があふれていました。

地域住民と高校生が世代を超えて交流しながら認知症予防につながる活動に取り組み、互いに親睦を深める機会となりました。



茶品評会が開催されました

6月19日、山都町中央公民館にて山都町茶品評会が開催されました。審査員として県農業研究センター茶業研究所研究員、県農業技術課、上益城地域振興局農業普及・振興課の方々が参加しました。蒸し茶16品、釜炒り茶8品を対象に、「外観」「香気」「水色」「滋味(じみ)」の4項目を基に200点満点で審査が行われました。

蒸し茶の部は橋本博さん(男成)、釜炒り茶の部は渡辺憲治さん(北中島)がともに満点の200点を獲得し、1位となりました。今後も茶の品質向上と地域振興が期待されます。



笑顔広がる！地元トマト贈呈

JA阿蘇南部トマト部会蘇陽支部が、7月8日に二瀬本保育園を訪問し、園児たちへトマトを贈呈しました。この活動は、山都町蘇陽地区を中心とするトマト農家の支部で、20年以上にわたって続けられる恒例の取り組みです。

贈呈の際、小崎芳雄支部長は「たくさん食べて元気に育ってください」と笑顔で伝え、17名の園児たちから「ありがとうございます！」と元気なお礼が返されました。支部はこの日、蘇陽地区の馬見原保育園と菅尾保育園も訪問し、地域の子どもたちとの交流を深めました。

